

長芋栽培方法

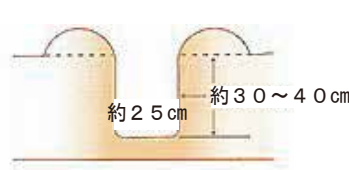
植えつけ4月上旬～5月上旬

1 パイプ土入れ



パイプ下部を手で押さえ、先端をスコップに見立て、土をすくい、パイプの中いっぱいになるまで入れる
無菌の真砂土がよい。肥料、有機物は生育障害の原因となるので入れてはいけない

2 パイプ埋設用溝掘り

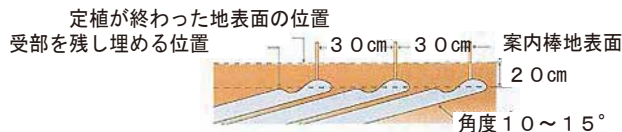


パイプ埋設用の溝を掘る。
この時、排水の良い土地の場合、深めの溝、排水の悪い土地の場合、浅めの溝にする
①幅25cm程度
②深さ30～40cm

3 パイプ埋設及び覆土

受け皿と受け皿の間隔を、約30cm取り、10～15度の角度がつくよう、また受け皿がまっすぐ上を向くようにパイプを埋め、受け皿の上にパイプの中と同じ土を盛り、中心に案内棒を立てる

重要 種イモの植え付けの時、案内棒を目安に植えつけを行うので、必ず中心に垂直に立ててください



パイプの埋めこみ方

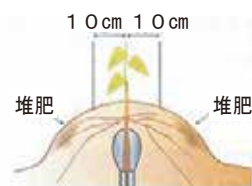
案内棒とは鉛筆の太さ位の割竹、小竹等で長さ30cmの棒をパイプ受部の中央に立て、覆土の深さ受部の位置を知るための棒



覆土

パイプと案内棒の上に20cm程度土を盛り畝をつくる

5 施肥



畝の頂上部より10cm以上離して均等にまき、表面を軽く耕しておく。施肥量は成分量により異なります
施肥例（1本当たり）

- | | |
|-----------------|----------------|
| ①化成肥料（8・8・8）の場合 | 約70g |
| 1回目 元肥 | 定植後すぐ 60%（40g） |
| 2回目 追肥 | 60日後 40%（30g） |

7 マルチ被覆

定植の30日後～40日後

ツルの長さが80cm～100cm程度まで伸びたら雨が降ったとに白黒マルチを被覆し、（白い方を上に）頂上部をテープ等で固定する

注意 雨水の浸入を防ぎ、加湿を防ぐ為です。ので、しっかり固定してください

4 定植

時期 桜の満開の10日前後が目安



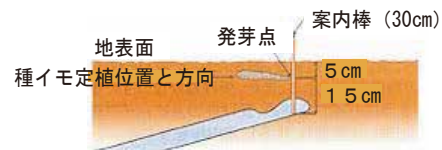
案内棒の脇を5cm程度掘り、パイプに対して水平に種イモを植える。
その際、芽の位置を案内棒に正確に合わせる

重要

種イモの発芽点を案内棒に正確に合わせないとパイプ内に入らない場合があります（パイプの受皿の上に発芽点があるように定植します）

定植の位置

種イモの発芽部を案内棒に沿わせておき、5cmの覆土を行う



パイプ内に無菌の真砂土を入れると品質の良いものが出来、不良土を入れると障害の原因になりやすい

6 支柱立て

地上部に芽が出てきたら、支柱ネットを張る

キュウリネット



重要

地上部にツルを這わせると様々な病害の原因となりますので、支柱とネットはなるべく早めに準備してください

8 収穫



12月に入りツルが完全に枯れた後、10日以上過ぎてから土の中からパイプを取り出し収穫する

ご相談・ご要望は  ガーテック 電話 079-277-5665